

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要				
事業開始年度	平成3年			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目	施策	06 健康づくり	
事務事業名	07	ヘルスバ日生管理運営事業		
根拠法令・規程等	問	担当課(室)	保健課	
	合	職・氏名	健康係長・白麗由美子	
	先	電 話	64-1820	
	このシート作成に要した時間			3.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	健康づくりに興味をもつ市民及び温浴に来られる来場者
目的(何のために)	市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	より多くの市民が健康づくりに興味を持ち、健康で明るく生活できる地域の中心的施設のひとつとなる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
健康づくり施設管理運営事業	指定管理者(財団法人体力づくり指導協会)に対して、市民が健康で明るく生活できるよう、健康づくりの場を提供することを目的として、ヘルスバ日生(温浴施設)の管理運営を委託する。	
目的を達成するため実施した事業		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	千円			22,261
必要人員	人			0.09人
事業費	千円	0	0	23,130
国・県・市・その他	千円			
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-
結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
温浴施設利用者数	数	49,478	43,014	41,682
対前年比	%	-	86.9%	96.9%
活動コスト	円	20,235,000	24,815,000	22,261,500
単位当たりコスト	円	409	577	534

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
施設利用者増加率	目標値(A)			100%	105%
	実績値(B)			97%	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	96.90%	105%
成果指標設定の考え方・式や説明					
より多くの市民に利用される施設運営を目指すことが課題であるため、利用者数の増加率を成果指標としている。					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 <A-E> <b>C</b>
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>

が事業の有効性を評価する際の留意点

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	施設利用者が減少しており、施設の有効活用をより推進するため、多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。本年度は、利用者の拡大をはかるため、第3土曜日に通常料金の200円引とする特別料金設定を行っている。また、本年度は指定管理者の選定(更新)年度となっている。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
運営経費が年間22,000千円(H21年度~H23年度)必要とする温浴施設であり、市民ニーズにより継続運営されている。利用者数は、法人会員部門が大幅に減少していることから、減少傾向となっている。施設の継続的運営をしていくためには、より多くの市内地域(市民、市内企業)の方に利用される施設(健康づくり推進の場)として運営していく必要がある。また、平成3年度の建設施設であり、老朽化が進んでいるため今後大規模改修が必要となる可能性があり、そうなった場合の本事業の方向性を予め検討する必要がある。	評価区分 <A-E> <b>C</b>	妥当性	効率性

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	施設利用者が減少しており、施設の有効活用をより推進するため、多くの市民が利用する施設となるよう指定管理者と協議、検討を行う。						